愛媛新聞創刊135周年記念広告特集

未来へ 受け継がれるDNA

愛媛発日本一の専門学校を目指す
学生の明日を創る山本学園

教室のドアを開けると、生き生きとした声が飛び交っていた。専門学校では珍しい「ゼミ」の「コマだ。「24歳のあなたは何をしていたい？」教員のそんな問いかけに、学生たちは喜々として自らの将来像を語る。彼ら、彼女らの澄んだ眼差しは希望に満ちあふれていた。

65年の歴史と伝統

学校法人山本学園の歴史は、戦後間もない1946（昭和21）年にさかのぼる。創立者・山本義雄が松山市花園町に設立した「松山洋裁女学院」（現・松山女学院専門学校）がその始まりであった。

学院は徐々に規模を拡大し、1967年には組織を変更。ここに学校法人山本学園が誕生した。以後、教育の充実に努め、愛媛でも名門の洋裁学校といわれるまでに成長していく。

その背景には、繊維産業の隆盛があった。洋裁学校にとって、繊維産業は人材の大きな受け皿であり、発展のけん引役だった。

しかし、昭和60年代を迎えるころには、その隆盛に陰りが見え始める。多様な産業の成長が顕著になる中、山本学園も時代の要請に合わせ、デザインや歯科衛生、コンピューターなど新しい分野の専門学校を次々設立。さまざまな職業分野で即戦力となるプロの教育に取り組んだ。

逆境の中での決断

教育の内容を充実させ、安定した学校運営を続けていた山本学園に、少子化という暗雲が立ち込める。

専門学校の主な入学生となる18歳人口は1992年をピークに、減少へと転じた。山本学園でも1998年ごろから学生数が急激に減少し始める。

この逆境の最中、理事長に就任した清水健太郎は事態を打開するため、企業経営に長けた、経験豊富な人材にすべてを託す決断をする。

大手銀行退職後、2006年、郷里松山に戻り、中小企業の再生・経営指導に携わっていた忽那英計。社会に有益な人材を育て地元に貢献できるならと、大役を引き受けた。

新たなステージへ

2008年7月、理事長代行の任に就いた忽那は「プロを育てる」という創立以来の志を守りつつ、経営の根本的立て直しを図るため、大胆な改革に打って出た。

まずは学校組織のすべてを改変し、経営の合理化を徹底する一方、教育スタッフも大半入れ替えた。「新しい山本学園」づくりに奔走し、ほぼ1年かけて組織の基盤を固めた。

辻町校舎（JR松山駅西側）

2010年には、大阪大学で教授を務めた張紀久夫と那須三郎を教育現場のトップとして迎え入れる。こうして、「新しい山本学園」の第2ステージがその幕を開けた。

学園は「愛媛発日本一」を理念に掲げ、さまざまな学校改革を遂行していった。就職に強い専門学校を実現するため、新たに設けた「ゼミ」形式の授業もその一つ。ゼミでは担当教員と少数の学生との継続的なコミュニケーションによって進路決定を行う。さらに、マナー講習や面接訓練など、学生一人一人に対するきめ細かい就職支援がその特徴である。

さらに今年、「新しい山本学園」は第3ステージへとステップアップを図っている。目指すは、"授業と進路指導の充実度日本一"だ。その目玉となる「特別集中講義」には、東京から第一線で活躍している、美容や医療、コンピューター、デザインそしてビジネスのプロフェッショナルを招聘する。一流に触れ、学ぶ機会は、学生の気概に火をつけ強いプロ意識を育む。

プロの育成という理念を継承しながら、改革と挑戦を続ける山本学園。不況や社会不安が横たわる状況にあっても、学生たちが将来の明るい展望を抱けるよう、愛媛を支え、全国で活躍できる人材になれるよう、不断の努力を続けている。（敬称略）

本校舎

山本学園

■名　　称／学校法人 山本学園
■本部所在地／〒790-0001 愛媛県松山市一番町1-4-1
■事業内容／各種専門学校の運営（グループ5校）
■代 表 者／理事長　清水 健太郎
■代表電話／089-931-1420
■ホームページ／http://www.yamamoto.ac.jp/ http://www.yamamoto.ac.jp/mobile

継想

左より 校長 張紀久夫、校長 那須三郎、理事長代行 忽那英計

大学剣道部同期の忽那と張、大学教授時代に張と親しい同僚だった那須という関係で繋がる私たち3人は、「松下村塾のような学校を創りたい」そんな忽那の一言に共感し、同志的連帯による学校改革に取り組んできました。

激動の幕末、一地方だった長州で、身分を問わず学ぶ意志のある者を受け入れた松下村塾。ここから、時代の立役者となった人物が多数輩出され、後世に多大な影響を及ぼしました。

現在、愛媛の若者たちの中にも、磨けば光る逸材がたくさん眠っています。やる気さえあれば、偏差値や、家庭の経済状況、またハンディキャップは障害になりません。どんな人にでも優れたところがある、そう私たちは確信しています。

長く不況が続く中、企業は即戦力となる専門家、すなわちプロを求めています。たとえ大学を卒業しても、即戦力となる力がなければ就職先が見つからないという事態を鑑みても、これまでの学歴偏重主義は、見直さなければならない段階に入っていると強く感じます。

私たちが目指すのは〝授業と進路指導（特に就職）の充実度日本一〟の専門学校。近代日本の礎となる人材が集立った松下村塾のように、今というフィールドで大いに活躍できる学生を育てていきます。

風の音色

学生の夢と安全を守る先進的取り組み

警備顧問
稲垣 健次氏

私は2010年から山本学園の警備顧問の任に就いています。学生さんの「安全」をはじめとした学校運営全般の「安全」をサポートすることが、主な任務です。非常勤という職制上、山本学園を客観的に見る機会も少なくありません。

就任以前から感じていたことですが、山本学園は、歴史と伝統があり、学生さんの就職率も高く、中身がしっかりとした専門学校だというイメージがありました。そのイメージは就任後も変わらず、大変好感を持っています。

また、2010年から新しく「危機管理」という概念を導入し、安全対策に取り組みはじめたこと自体大変先進的であり意味のあることだと思いました。安全が担保されていることは、危機的な事象が起こらない限りほとんど気がつかないのですが、実は組織の土台を支える大変重要なものであると痛感するからです。

導入以降、安全を脅かすような大きな問題は起こっていないのも評価できます。これからも山本学園を応援させていただきたいと思っています。

1946	1947	1966	1967	1975	1976	1980	1986	1987	1991	2008	2010	2011
創立者山本義雄が松山洋裁女学院を松山市花園町に設立	玉川学園を合併し、松山市一番町に新築移転	松山技芸専門学校を吸収合併	学校法人山本学園に組織変更	松山デザインスクール設立	松山女学院ドレスメーカー専門学校及び松山デザイン専門学校へ改称（専修学校制度の施行に伴い、専修学校として認可）	松山歯科衛生士専門学校設立	松山コンピュータ専門学校設立	松山情報ビジネス専門学校設立	松山女学院ドレスメーカー専門学校を松山女学院専門学校へ改称	新しい山本学園スタート 忽那理事長代行就任	新しい山本学園 第2ステージスタート 張校長就任 那須副校長就任	新しい山本学園 第3ステージスタート 那須校長就任

プロの指導者が、君をプロにする。

AO入学エントリー受付中!!

山本学園
5つの学校（17のコース・専攻）

第3ステージ　愛媛発日本一の授業と進路指導（特に就職）をめざす

東京からの一流講師による
特別集中講義

- 5学校すべてにおいてハイレベルの講義を実施
- 原則として連続3日間、年6ヵ月の集中講義
- 単位取得者は県内外の有力企業への就職が目的

※2年生からの選択科目

＋

第2ステージの完成・充実

◎ゼミ（必修）→ 就職意欲の向上・就職指導・人間教育
◎東京の研修 → 学校毎に実施（希望者限定）
◎教養科目「法律・政治・経済・英語・文学」（全学校共通・希望者限定）
◎研究生制度（就職先のレベルアップコース）、研修員制度（教員コース）
○入学前・卒業後の進路指導（入学前オリエンテーション・職場訪問・アンケートなど）
○実践的・実務的カリキュラム・シラバス（資格取得目的でなく、就職目的の授業）

体験入学＆保護者説明会　毎週土・日開催中！
交通費支給！　ティータイムあり

東予・南予からの無料送迎あり！
要予約　0120-086-406（携帯可）

1 学校説明＆体験コース	2 体験コース
11:00～ 受付	12:30～ 受付
11:30～ 学校説明	13:00～ 体験スタート
12:00～ ランチ	16:00　体験終了
13:00～ 体験スタート	
16:00　体験終了	

1は体験入学が初めての方と、希望者向けのコースです

お申し込み・お問い合わせ
0120-086-406（携帯可）
info@yamamoto.ac.jp
http://www.yamamoto.ac.jp/